

Forest通信 令和6年 8

No.426

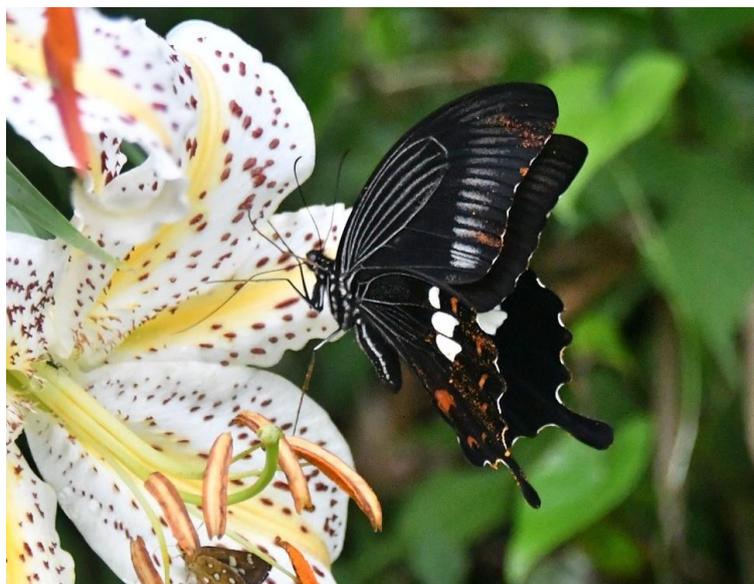
林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

巻頭

Photo

高尾山のいきものたち

モンキアゲハ (アゲハチョウ科)



翅の白い模様が目立つ蝶。翅を開くと11～14cmと日本で最大級の大きさで、全体的に黒いが、後翅に白から黄白色の紋があり、これが名前の由来になっている。後翅には尾状突起があり、外縁に鮮やかな赤色の斑点が並ぶ。雌雄はほぼ同色だが、この赤斑は雌の方がよく目立つ。

成虫は年2回程発生し、5～9月頃に見られる。平地から低山の森林や林縁に多く、やや高所を飛び、ユリ類、ウツギ類、クサギなど各種の花に吸蜜に訪れる。幼虫はカラスザンショウ、キハダ、栽培ミカン類などのミカン科植物を食草とし、冬は蛹で越冬する。白や赤の斑紋が目立つ大きなモンキアゲハ。森の様々な植物によって命をつなぎ、華麗な舞いを見せてくれる。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)

富ちゃん 皿ちゃんの

NO.82



カラマツ (マツ科)

日本の固有種で、本州中央部の高地に分布し、樹高30m、胸高直径1mに達するものもある日本唯一の落葉針葉樹です。高尾山にも少面積ですが植林されています。

名前の由来は、唐時代の中国の絵の松に似ているからとか、落葉して葉がカラになるなどの説があるようです。

戦後、拡大造林のもとに、北海道や東北で盛んに植林されました。カラマツは、成長が速く、木材強度に優れているのが特徴で、スギよりも高い硬度を有している反面、繊維がねじりながら育つため、割れや狂いが出やすいなどの欠点があり建築材としては使いづらいため、炭鉱の坑木や電信柱の利用が期待されていましたが、炭鉱がなくなるなどで需要が限られてしまいました。

近年では加工技術の進歩により、針葉樹合板や集成材、CLTなどに加工され需要が高まって

います。

北海道の標茶町と厚岸町にまたがる荒廃した約1万haの原野に、昭和31年から林野庁が計画的にカラマツを植林した「パイロットフォレスト」があります。現在では道東地区の木材供給源として期待されています。更に、森林が蘇るに伴い下流にある厚岸の牡蠣養殖の水揚げに貢献したと言われています。(皿)



木目



パイロットフォレスト



黄葉



パイロットフォレスト造成前

森林カレッジⅡ開催!

7月20日(土)に、日影沢自然学習体験施設(炭焼施設)において、林野庁OGで株式会社モリアゲ代表の長野麻子先生を講師に迎え、本年度第2回目の森林カレッジを開催しました。午前中に「ウッド・チェンジで日本をモリアゲよう!」と題して、日本の森と木の可能性、各地の実践事例などユーモアを交えながら講義していただきました。

午後は、草刈り体験です。あまりの暑さに中止した方がいいのではとの話もありましたが、せっかくの機会ということで、林道沿いに生い茂った草を下刈鎌で刈り払う体験を行いました。

その後、次回の森林カレッジで予定している「炭焼き体験」用の竹の準備作業を行いました。専用の竹割器を使い割る作業で、皆さん初めての体験だと戸惑いながらも、繰り返し挑戦され、竹が気持ちよく割れると、「満足です」との声も聞かれました。

作業終了後、皆さんに書いていただいたアンケートには、「木の利用、サービス事業などの情報が得られてよかった」「下刈りを体験してみたかったので非常にいい機会になり楽しかった」「楽しい時間

を過ごすことができ、より、山や森に足を運びたくなりました。森の中での講義で気持ち良かったです」等々ありがたい感想ばかりで、厳しい暑さの中での開催にもかかわらず、高尾山の森林の中で有意義な一日を過ごすことができました。(谷)



午前中の講義



なかなか体験できない下刈鎌研ぎと草刈り

ボランティアの皆さんに 自然観察路等の整備を していただきました

いつも森林教室のお手伝いをして頂いているボランティア団体フォレストサポート・高尾の皆さんに、今回は、森林教室で通る自然観察ルート等の整備と児童たちがお弁当を食べる日影沢園地のベンチ、テーブルの整備を実施して頂きました。これらは東京神奈川森林管理署と結んでいる森林保全活動協定に基づくものです。

6月13日(木)と23日(日)の二日間にわたって、林道の法面から崩れてきた土砂の除去と道幅の確保、湧水でぬかるむ部分への木道敷設、谷側への転落注意喚起のためのトラロープ設置、丸太を使ったベンチ3基と輪切りのテーブル1基の設置、既存のベンチ19基のカンナがけと塗装などに延べ16人の皆さんが汗を流してくださいました。今回の活動で森林教室の際の児童の安全確保や快適な環境の整備が図られました。ボランティアの皆さん、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします!(枝)



編集後記

8月11日(日)「山の日」に、当センター1階クラフト室において「山の日特別クラフト体験」を行います(材料なくなり次第終了となります)。



コマツナギの花

Forest通信 NO.426

発行：林野庁関東森林管理局
高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689

E-mail: ks_takao_postmaster@maff.go.jp

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

